令和８年度
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書
《令和７年度実施事業》

天草市教育委員会

は　じ　め　に

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条第１項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することとなっています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たしていくため、令和７年度の本市教育委員会の所管事務について、点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付して報告するものです。

＜参　考＞

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律　（平成２７年４月１日改正）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目　　　次

Ⅰ　点検及び評価に関する要領

１　趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１Ｐ

２　点検評価の対象範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１Ｐ

３　点検評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１Ｐ

４　点検評価員の委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１Ｐ

５　点検評価の手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１Ｐ

６　点検評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２Ｐ

Ⅱ　教育委員会の活動状況

１　教育委員選任状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３Ｐ

２　教育委員会会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３Ｐ

３　教育委員の主な活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・　３Ｐ

４　附属機関の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５Ｐ

５　教育委員会の情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５Ｐ

Ⅲ　外部点検評価

１　点検評価員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６Ｐ

２　点検評価員会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６Ｐ

３　点検評価員からの主な意見・・・・・・・・・・・・・・・・　６Ｐ

４　総合評価（総括的な意見等）・・・・・・・・・・・・・・・・９Ｐ

５　今後の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０Ｐ

Ⅳ　点検評価調書

１　令和７年度点検評価事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・１１Ｐ

２　令和７年度主要な施策の成果に関する報告書（点検評価事業分）１８Ｐ

Ⅰ　点検及び評価に関する要領

１　趣　旨

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第２６条第１項の規定に基づき、天草市教育委員会の権限に属する事務について令和７年度の点検及び評価を行う。

２　点検評価の対象範囲

点検評価の対象は、地教行法第２１条に「教育委員会の職務権限」として規定されている事務のうち、「第３次天草市総合計画」や「第３次天草市教育振興基本計画」を推進するため取り組んだ主な事業を対象として実施する。

３　点検評価の方法

（１）内部評価

「事務事業」については、その「必要性」、「有効性」等の観点から評価を行い、今後の「方向性」を判断する。

（２）外部評価

学識経験を有する方から、「事業目的・内容」、「取組実績」及び「総合評価（方向性）」について意見を聴取する。

４　点検評価員の委嘱

点検評価を行うに当たり、地教行法第２６条第２項の規定により、次のとおり点検評価員を委嘱する。

（１）点検評価員の数　２人

（２）資格　教育に関し学識経験を有する者で、性別・年齢は問わない。

（３）任期　２年（再任を妨げない）

（４）報酬等　天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定による。

５　点検評価の手順

点検評価は、次の手順により行う。

（１）内部評価

所管する事務事業等について、事務局各課にて評価を行う。評価にあたっては、「主要な施策の成果に関する報告書」及び「点検評価事業一覧」をもって行う。

（２）外部評価

内部評価の結果を基に、点検評価員から意見を聴取する。

（３）最終評価

内部評価及び外部評価の結果を踏まえ、教育委員会が最終的な評価を行う。

（４）議会への報告

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を市議会に提出する。

（５）公表

教育委員会は、「点検及び評価報告書」をホームページに掲載し、市民に公表する。

６　点検評価の方法

（１）「評価（達成状況）」

評価は、次により記載する。

Ａ：達成できた（８割以上）

Ｂ：概ね達成できた（６割以上～８割未満）

Ｃ：あまり達成できなかった（４割以上～６割未満）

Ｄ：達成できなかった（４割以下）

※（　）については、評価するに当たっての目標値に対する実績値の目安とする。

（２）「課題と方向性」

事業を進める上での課題及び今後の方向性について記載する。

（３）「総合評価（方向性）」

事業評価の結果を踏まえ、今後の取組みの方向性について、次により記載する。

Ａ：拡充（現行より拡充し継続）

Ｂ：継続（現行を維持し継続）

Ｃ：見直し（手法や体制を見直し継続）

Ｄ：終了（事業の完了）

Ｅ：廃止（事務事業の廃止）

Ⅱ　教育委員会の活動状況

１　教育委員選任状況

《委員名簿》　　令和８年７月１日現在

役職名	氏　　名	任　　期
教育長	平田　浩一	R6.7.1～R9.6.30
委　員（教育長職務代理者）	吉森　啓司	R5.7.1～R9.6.30
委　員	行合　八恵子	R6.7.1～R10.6.30
委　員	池崎　教授	R7.7.1～R11.6.30
委　員	田中　とも子	R8.7.1～R12.6.30
委　員	小林　景子	R6.7.1～R10.6.30

※教育長の任期は３年、委員の任期は４年

２　教育委員会会議

会議は原則公開で行い、毎月１回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催し、教育行政の実施に関する事項等の審議を行います。令和７年度においては、定例会を１２回、臨時会を３回開催し、議案５９件の審議、協議報告３６件について審議しました。

市民への積極的な情報提供を行うため、会議を傍聴できることや、会議の日時、場所、教育委員会定例会及び臨時会の会議録のホームページへの掲載などを引き続き行います。

３　教育委員の主な活動状況

（１）学校訪問

市内の幼稚園や小・中学校を訪問し、教育課程、学習指導、生徒指導その他専門的事項について指導・助言等を行うとともに、その学校の取組みや抱えている課題の把

握に努めました。これに、教育委員も参加し、校長との意見交換や授業・施設の視察等を行いました。

《学校訪問の状況》

区　　分	対　象	期　　日	出席状況
幼稚園訪問	1園	令和7年10月29日～令和7年10月29日	延べ 3人
小学校訪問	17校	令和7年6月25日～令和7年12月18日	延べ33人
中学校訪問	13校	令和7年7月2日～令和7年12月11日	延べ19人

（２）研修会への参加

教育委員会では、教育委員会関係団体の行事や研修会に参加し、情報交換や研さんに努めています。

（３）その他の主な会議や行事

会議・行事名等	期　　日	出席状況
入学式・入園式	令和7年4月	延べ10人
二十歳のつどい（１０地区）	令和7年8月、令和8年1月	延べ12人
研究発表会（小中学校研究発表校８回） オンライン参加	令和7年6月～令和8年2月	延べ21人 のべ4人
社会を明るくする運動表彰式	令和7年7月5日	3人
つながる力で天草の未来を創る教育推進フォーラム	令和8年1月10日	4人
退職者感謝状贈呈式	令和8年2月20日	5人
卒業式・卒園式	令和8年3月	延べ11人

４　附属機関の状況

政策等を立案するに当たり、専門的な判断を要する事案等について、各関係者の意見を広く聴取し、様々な角度から議論を行うため、附属機関を設置しています。審議会等の開催状況は次のとおりです。

審議会等の名称	開催回数	主な審議案件
天草市教育振興審議会	１回	第３次天草市教育振興基本計画の進捗状況
天草市奨学生選考委員会	１回	奨学生の選考
天草市就学指導委員会	２回	心身に障害のある児童及び生徒に対する就学指導
天草市いじめ防止対策審議会	１回	本市のいじめ問題に係る現状報告、いじめ事案に関する審議
天草市いじめ問題対策連絡協議会	１回	本市のいじめ問題に係る現状報告 いじめ問題に係る情報交換・意見交換
天草市立学校給食センター運営委員会 （各センターに設置）	各２回	学校給食費、給食日数、納入業者、管理運営に関する協議
天草市学校給食食物アレルギー対応委員会	２回	基本方針、食物アレルギーの対応の決定及び経過報告
天草市社会教育委員会議	１回	事業報告、事業計画
天草市立図書館協議会	１回	事業報告、事業計画

５　教育委員会の情報発信

教育に関する制度や手続等の周知を図るとともに、教育委員会の取組みに関心を持っていただくため、教育の現状及び課題、施策等についてホームページにおいて情報の提供をしています。

Ⅲ　外部点検評価

１　点検評価員　　（５０音順・敬称略）

氏　　名	所　　属　　等
後藤　千恵	一般社団法人　天草１０００年の人と土の営み　代表理事 元ＮＨＫ解説委員
望月　信幸	熊本県立大学総合管理学部教授

※任期：令和８年７月１日から令和１０年６月３０日まで（２年）

２　点検評価員会議

・第１回点検評価員会議　　令和８年８月　６日（木）天草市役所　庁議室
・第２回点検評価員会議　　令和８年９月２４日（木）天草市役所　庁議室

３　点検評価員からの主な意見

教育総務課所管事業

（１）姉妹都市教育交流事業

・とても良い経験となるため継続してほしい。
・海外への関心が高まる中で重要な事業。派遣された６名の貴重な経験をより多くの児童生徒へ共有できるよう、全校生徒や近隣小学校へ写真等を交えた発表などを実施し、天草の魅力再発見も含めた広がりを持たせるなど、予算をより活かしてほしい。

（２）離島高校生修学費支援事業

・未使用の事業も含め継続してほしい。海上タクシー支援（御所浦航路利便性強化）は部活動減少等の影響もあると思うので、ニーズを把握し、別の必要な形での代替支援も含めて検討・継続してほしい。

（３）（４）小・中学校施設大規模改修事業

・地震等への備えも含め設備改修は早急な対応をお願いしたい。
・中学校の洋式化率（83.9%）において和式が一定数残っている現状について、特に女子生徒等のニーズを踏まえ洋式化を進めてほしい。一方で、将来和式に遭遇する機会を考慮し、日本文化として１つ程度あえて残す観点もあるのではないか。

学校教育課所管事業

（５）学習指導補助事業

・現場は大変であり要望も多いと思う。限りもあると思うが、できるだけ現場の要望に近づけられるよう引き続き推進してほしい。

（６）外国語指導助手招致事業

・訪日客の増加もあり、積極的に英語と関わっていくことが大事である。ＪＥＴプログラム

からの移行や委託化など、体制見直しの検討については、生徒へ提供される教育環境を維持しつつ、サポート側の負担軽減を図れる良い形で進めてほしい。
・補助教員の要望が２倍ある現状は現場の苦労を表している。財源や有資格者の確保（臨時教員）に限界がある中、他地域（品川区等）のように地域シニア等のボランティアに見守りや立ち歩き児童の対応として教室に入ってもらうなど、予算増額以外の地域の力を活用した支援の仕組みを工夫・検討してはどうか。

（７）学校読書活動支援事業
・昨年度の亀川小や天草おやじの会の文部科学大臣賞受賞など非常に高いレベルの取り組みが行われている。一方で、貸出冊数が前年比で約１割減少している。優れた取り組みの共有や全体的な下地づくりが大事である。

（８）幼保小の架け橋プログラム推進事業
・幼保と小学校の連携は極めて重要であるため､今年度で事業が終了しても実態把握を行い、実態に合わせた形を構築・継続してほしい。
・小１プロブレム解消において架け橋プログラムは大事である。

（９）中学校英語検定チャレンジ事業
・受験率だけでなく、単に受けさせられたと感じさせないよう、自発性を引き出す形で進めてほしい。
・単に受験率を高めるだけでなく、取得率を活動指標に入れるべきではないか。また、英検取得者など頑張った生徒を校内でオープンに表彰・紹介するなど、生徒同士が切磋琢磨できる仕掛けがあると良い。

(10) 小学校臨時教員配置事業
・今後、方向性を検討するとのことだが、学校現場の状況に合わせて見てほしい。

(11) 総合的な学習活動支援事業
・良い事業である。世界遺産やイルカ等だけでなく、地域住民から教えてもらう色んな地域の宝物へ対象を広げていくことを期待する。

(12) 心の教室相談事業
・相談の件数がかなり増えている。対応スタッフの確保は難しいと思うが、研修や増員など早い段階からの体制整備を進めてほしい。
・受け皿が難しいと思うが、何かいい案があるといい。

(13) 適応指導教室設置事業
・新しく牛深地区に支援センター（あかね学級）ができたことを評価する。ぜひ活用してほしい。

（14）中学校部活動地域移行推進事業

・指導員の確保が一番の課題である。ニーズを拾い上げ、折り合いを上手くつけながら確保策を考えてほしい。

（15）特別支援教育総合推進事業

※意見なし

（16）教育相談事業

※意見なし

（17）教育研究推進校補助金

・教材共有（ＡｍａＥｄｕシェアＢＯＸ）は良い取り組みだが、使われ方が重要。使い方の解説動画を載せるなど、教員が活用しやすくなる工夫や周知の機会を設けてほしい。

・学力向上だけでなく、天草体験学習などの取り組みを増やし、未来を拓く多様な力を育む視点を深めてほしい。

・先生方の教材共有の取り組みは素晴らしい。事例を集めて共通教材を作る「資料づくり検討委員会」のような仕組みの設置や、優れた教材を作成した教員の評価・表彰などの工夫があるとさらに進むのではないか。

（18）小中学校ＩＣＴ整備事業

※意見なし

学校給食課所管事業

（19）学校給食施設整備事業

・予定以上の設備改修や空調整備がなされ、快適に調理できるようになったと思う。引き続き臨機応変に対応してほしい。

（20）学校給食（地産地消）推進事業

・地産地消については食材だけでなく天草独自の調理法など、食文化全体を教育に取り入れてアピールしてほしい。

・地元農家の減少や耕作放棄地の増加といった地域課題に対し、小中学生が耕作放棄地等でサツマイモ（がね揚げ用など）等を地元住民と栽培し、給食で提供するような食育と体験学習、地域応援を兼ねた取り組みができないか。

生涯学習課所管事業

（21）二十歳のつどい開催事業

・牛深地区の８月開催は、お盆や大学生の夏休みなどで参加のしやすさにつながるため良い。出席率向上のためにも日程調整は柔軟に行ってほしい。

・Ｕターン促進や若者の交流継続のため、20 歳だけでなく 25 歳や 30 歳など５年ごとの節目で集まる機会が市や各地区において継続してできるといい。

（22）青少年健全育成支援事業

・事業を周知するだけでなく、受け皿となる活動団体自体の立ち上げや育成を市から働きかけることで参加・実績の増加につながるのではないか。

・家庭環境や経済面による体験格差が課題である。障害のある子どもやひとり親家庭など、自発的参加が難しい子どもたちが体験を得られる機会を増やしていくことが重要であり、力を入れてほしい。

（23）地域と学校の連携・協働体制構築事業

・地域の方と児童生徒など世代を超えた交流は大事である。地域に対する帰属意識の醸成にもつながるため、年齢を問わない柔軟な交流を積極的に進めてほしい。

・五和では自身が関わる大学生インターンシップや中学生との交流連携において地域学校協働活動の展開ができている。

・放課後子ども教室では、夏休みの預かりへのニーズが非常に高い状況である。

（24）生涯学習推進事業

・生涯学習講座等に参加している意欲や力のあるシニア層の力を子どもの学び・預かり支援につなげる仕組みを作れないか。

（25）移動図書館事業

・デイサービス施設等への巡回など、高齢者等には移動図書館本を提供する一方で、若年層にはスマホやタブレット等での読書機会の提供を進めてほしい。

（26）読書活動推進事業

・学校図書館の話において、電子が増えているとあったが、読書活動において貸出数は増えておらず、電子含めて貸出数を伸ばすための工夫が必要である。

４　総合評価（統括的な意見等）

望月点検評価員

点検評価対象の各事業のスタートの時期からすると、コロナ禍や社会状況により教育環境は大きく変化したが、事業を柔軟に見直し、変化に対応しながら改善し、現場のニーズに対応されている努力に感謝する。

最終年度である令和 10 年度に向けて、より充実した事業展開を行いつつ、次の施策をどう展開していくかを視野に入れて評価や見直しを行っていく必要がある。評価指標は大切であるが、数字を合わせるような形式的なものになっては事業の意義が損なわれるため、数字にとらわれすぎず、現場の環境やニーズに対応した実りのある事業展開を期待する。

学校教育はもちろんだが、社会教育は若者から高齢者まで対象が広く、ＩＴへの対応など世代ごとに現場の声が異なるため、限られた資源の中でも利用者の立場に立った質の高い事業を行っていただきたい。

天草市の教育は全国的にも個性的かつ実質的で優れており、周囲からも高く評価されている。今後も利用者の立場に立った質の高い事業が行われることを心より願う。

後藤点検評価員

天草には人口減少などの課題もある中、豊かな自然や食文化（天日塩や砂糖・味噌づくり等）、地域の人の魅力といった独自の地域資源が豊富に存在する。ＡＩ時代においては知識よりもどのような体験や人との交流をしてきたかが重要となってくるため、身近で豊かな体験ができる天草の環境は大きな強みであり、体験の島として教育振興の方向性を進めていくことが望ましい。

学校現場の教員の負担感に対し、生涯学習意欲や知識・技術が高いシニア世代などの地域人材を活かす仕組みづくりが重要ではないか。学校ボランティアの養成講座でワークショップや体験ボランティアの実施など、少額の予算やスペースを活用した地域・企業の支援によるモデルケースの仕組みが出来るといいと思う。

地域の大人と子どもが連携し、アプリ等を活用して身近な「宝物」を発見する取り組みや、野草採取やその調理体験など低コストで満足度の高いイベントを催すなど、地域の魅力を再発見できる機会が作れるといい。大人が自信と誇りを持って地域に関わり、子どもたちに郷土愛や思い出を育むことで、将来的なＵターンや子育て世代の定住につながることが期待されるため、学校と地域がうまく連携していけたらいいと思う。

５　今後の方向性

・点検評価員の意見を真摯に受け止め、事業の更なる充実を図るため、社会環境の変化や学校現場・地域のニーズに応じた改善や検討、協議を十分に行い、今後の教育行政の運営に反映させる。
・点検評価の結果に基づき、事務事業の今後の取り組みの方向性等の見直しを行い、次年度の予算に反映させる。

令和７年度　点検評価事業一覧

1. 教育総務課（４事業）

総合計画 （ありたい姿・政策）	教育振興 基本計画 （政策・施策）	整理 番号	事業名称	評価 （達成 状況）	課題と方向性	総合 評価 （方向性）
2　多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっています (5)ともに認め合う多文化共生社会の実現	１ 子どもたちの学びの充実 (2)学力の向上	1	姉妹都市教育交流事業	A	【課題】 派遣にあたっては物価高騰や世界情勢の影響を受け、旅費が年々高騰しており、補助金による助成がなければ参加者の自己負担が多額になる状況である。 【方向性】 天草市として姉妹都市交流は今後も継続予定であり、子どもたちが異文化体験や生きた外国語に直接触れる貴重な機会でもあるため、継続とする。	B
3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています (6)子どもたちの学びの充実		2	離島高校生修学支援事業	A	【課題】 ２つの補助金のうち御所浦航路利便性強化事業補助金については、高校の朝課外の終了、天草高校倉岳校への進学者の減少等により令和４年度から利用実績がない。 【方向性】 離島高校生修学支援補助金については、目的に沿った効果が得られており、今後も継続とする。 一方、御所浦航路利便性強化事業補助金については、今後の見込みや、離島から通う高校生の修学に関する他の課題を確認し、制度改善について事業主体である県と共に検討を進める。	B
	１ 子どもたちの学びの充実 (9)教育を支える環境づくり	3	小学校施設大規模改造事業	C	【課題】 国庫補助金を財源とするため、国からの補助採択がなければ計画年度で改修工事を実施することができない。また、世界的な社会情勢を要因とする物価上昇及び資材不足に伴い、入札不調等が増加している。 【方向性】 天草市学校施設個別施設計画（令和４年～令和13年）及び定期点検の結果等を踏まえながら老朽化している施設の状況を把握し、計画的に事業を実施していく。また、「水銀に関する水俣条約」に基づき、蛍光灯が段階的に製造中止となるため、照明設備改修については短期間で更新を行う必要がある。	A
		4	中学校施設大規模改造事業	C	【課題】 国庫補助金を財源とするため、国からの補助採択がなければ計画年度で改修工事を実施することができない。また、世界的な社会情勢を要因とする物価上昇及び資材不足に伴い、入札不調等が増加している。 【方向性】 天草市学校施設個別施設計画（令和４年～令和13年）及び定期点検の結果等を踏まえながら老朽化している施設の状況を把握し、計画的に事業を実施していく。また、「水銀に関する水俣条約」に基づき、蛍光灯が段階的に製造中止となるため、照明設備改修については短期間で更新を行う必要がある。	A

令和７年度　点検評価事業一覧

2. 学校教育課（14事業）

総合計画 （ありたい姿・政策）	教育振興 基本計画 （政策・施策）	整理 番号	事業名称	評価 （達成 状況）	課題と方向性	総合 評価 （方向性）
3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています (6)子どもたちの学びの充実	1　子どもたちの学びの充実 (2)学力の向上	5	学習指導補助事業	A	【課題】 学校からの配置要望は年々増加傾向にあるが、全ての要望に応えられていない状況である。 【方向性】 マンパワーが必要な学校現場において、本事業は必要な事業であるため、適正配置に努め、今後も継続して取り組みを行う。	B
		6	外国語指導助手招致事業	A	【課題】 学校(園)数、学級数は制度当初から比較すると減少しているものの、授業数増加等により現場の需要は高まっている。現在の学校規模や教育内容に応じたＡＬＴの配置体制となっているか検討する必要がある。 【方向性】 学校現場におけるＡＬＴの活用状況について実態調査を行い、併せてＪＥＴ、民間委託、直接雇用のメリット・デメリットを比較し、本市に最適な体制と適正な配置数の検討を行う。	C
		7	学校読書活動支援事業	A	【課題】 図書館業務は専門的な知識を必要とすることから、人材確保の面で課題がある。また、電子図書の利用は増加しているが、学校図書館の貸し出し冊数は減少している。 【方向性】 効果的な読書活動を推進するためにも学校司書の確保に努め、学校図書及び電子図書の活用を進めていく。	B
		8	幼保小の架け橋プログラム推進事業	B	【課題】 園や学校における「架け橋プログラム」への理解や取り組み状況の差が大きく、また「架け橋期のカリキュラム」については、各学校が取り組みやすく、分かりやすい評価方法を作成し、持続可能な仕組みにする必要がある。 【方向性】 幼保小の学びの連続性を確保した質の高い教育を天草市全域で提供できるよう取り組みの充実を図っていく。	B
		9	中学校英語検定チャレンジ事業	A	【課題】 受験率向上だけではなく、取得率の向上を目指し、個人や学年の学習状況に応じた受験時期の調整等を促してきたが、取得率の顕著な改善には至らなかった。国際的な指標（ＣＥＦＲ　Ａ１等）が示すように評価の重点は「知っていること」から「実際に使えること」へと移行している。 【方向性】 生徒が「使える英語」を身に付けることができるよう、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善を行うため、教員の授業力を向上させる実践的研修の充実や、先進校の視察・研究等を通じた指導法の普及・定着に組織的に取り組んでいく。	C

令和７年度　点検評価事業一覧

総合計画 （ありたい姿・政策）	教育振興 基本計画 （政策・施策）	整理 番号	事業名称	評価 （達成 状況）	課題と方向性	総合 評価 （方向性）
		10	小学校臨時教員配置事業	A	【課題】 複式学級を単式学級化することにより、一人一人の児童に対してきめ細やかな指導をすることができるが、今後は、複式学級の増加が見込まれるため、教員の確保や財源の確保が課題である。 【方向性】 事業の方向性を検討する必要がある。	C
	１ 子どもたちの学びの充実 (3)体験学習の充実	11	総合的な学習活動支援事業	A	【課題】 人件費や物価高騰により、児童生徒が現地学習をする際の移動経費等が増加傾向である。 【方向性】 教育委員会が主導する体験学習のメニューは充実しており、今後は、これまで各学校で実践してきた地域資源を生かした体験学習をベースに、各校に配置した地域学校協働活動推進員の協力を得て、事業のブラッシュアップを行い、効果の高い体験学習を実践していく。	B
	１ 子どもたちの学びの充実 (4)心の教育の充実	12	心の教室相談事業	A	【課題】 相談員のなり手が不足しており人材確保の面で課題がある。また、様々な相談があり、的確なアドバイスや対応の必要があるため、情報交換を含めた研修の充実を図る必要がある。 【方向性】 生徒の悩みに対して、ストレスを少しでも和らげることのできる環境を提供する場としての存在意義は大きいため、今後も継続して取り組みを行う。	A
		13	適応指導教室設置事業 (教育支援センター事業)	A	【課題】 適応指導教室については、本渡地区のみ開設しており、教育機会の格差が生じている。本渡地区以外の児童生徒を対象とした教育支援センター開設の要望もあっている。 【方向性】 様々な理由により学校に登校できない生徒に対して、教育を受ける機会や社会と繋がる機会を提供する場としての存在意義は非常に大きいため、今後も継続して取り組みを行う。令和８年度からは、牛深地区に教育支援センターを新規に開設し、解消を図っていく。	A
	１ 子どもたちの学びの充実 (5)健康教育・安全教育の推進	14	中学校部活動地域移行推進事業	B	【課題】 各種団体や学校関係向けの説明会を対面式、オンデマンドで数多く行うなど、啓発に力を入れたが、各中学校において共通理解が進まなかった。 【方向性】 地域展開した部活動への補助金創設を行うとともに、人材確保や地域展開の進め方について、学校の実情に寄り添った支援を行っていく。	A

令和７年度　点検評価事業一覧

総合計画 （ありたい姿・政策）	教育振興 基本計画 （政策・施策）	整理 番号	事業名称	評価 （達成状況）	課題と方向性	総合 評価 （方向性）
	１　子どもたちの学びの充実 (6)特別支援教育の充実	15	特別支援教育総合推進事業	A	【課題】 教育上特別な支援を要する園児・児童生徒が増加・多様化する中、インクルーシブ教育（障害の有無や個々のニーズに応じ、共に学び、成長を支え合う教育）の重要性が増す一方で、現場での深い理解や実践にはまだ個々の職員で温度差がある。 【方向性】 リーダー・コーディネーター会議等を核として各校（園）の推進体制と巡回相談等を活用した全体研修を充実させていく。	B
		16	教育相談事業	A	【課題】 専門性の高いカウンセラーからの教育相談が受けられる一方で、相談が集中し、要望に対応できないケースがあった。 【方向性】 相談体制の検討を行うとともに、他課との連携が不十分な場面が見られたため、保護者からの相談に対して適切な連携が図れるよう取り組みを行う。	B
	１　子どもたちの学びの充実 (7)教職員の資質の向上	17	教育研究推進校補助金	A	【課題】 天草市のすべての学校において、「教師の授業力の向上と児童生徒の学力の充実を目指す」という方向性は共有して進めているものの、取り組みには温度差がある。 【方向性】 特定の学校だけでなく、すべての地域や学校が指定を受けられるよう研究内容や指定校数の見直しを行う。また、各学校や個人の教材等を共有することで、市全体のブラッシュアップを推進するとともに、天草市ホームページを活用し、地域への発信も行っていく。	A
	１　子どもたちの学びの充実 (9)教育を支える環境づくり	18	小中学校ICT整備事業	A	【課題】 ＩＣＴ機器（大型液晶ディスプレイ、書画カメラ等）について、耐用年数を迎えているものが多くあり、故障も増加傾向である。 【方向性】 ＩＣＴ機器の計画的な更新を行うため、ＧＩＧＡ第１期（令和２年度）に導入した機器を含めた整備計画の更新を行う。また、学校内のインターネット通信に遅延等障害が見られるため、解消に向けた取り組みも行う。	B

令和７年度　点検評価事業一覧

3. 学校給食課（２事業）

総合計画 （ありたい姿・政策）	教育振興 基本計画 （政策・施策）	整理 番号	事業名称	評価 （達成 状況）	課題と方向性	総合 評価 （方向性）
3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています (6)子どもたちの学びの充実	１ 子どもたちの学びの充実 (10)学校給食の充実	19	学校給食設備整備事業	A	【課題】 調理場については、建設から20年以上経過している施設が多く、安定した給食を提供するためには学校の統廃合を視野に入れた改修や改築・統廃合の計画の構築が必要である。 【方向性】 小中学校の統廃合の方針及び施設の老朽化の状況を考慮し、給食センターの統廃合及び新築移転の計画を部内で協議し、決定する。それに伴い、厨房機器の更新の優先順位を見直す。	B
		20	学校給食（地産地消）推進事業	A	【課題】 １日の給食提供数が多い調理場では食材の安定的な確保が必要である。 【方向性】 使用頻度が高い食材（たまねぎ・にんじん等）については、関係機関と連携し、供給方法等を検討するなど、天草産食材の安定的確保につなげる。また、新たに使用する天草産食材については、農業関係者だけではなく、他事業者（商工会や製造業者等）からも情報収集を行い、食材の発掘を行う。	B

令和７年度　点検評価事業一覧

4. 生涯学習課（６事業）

総合計画 （ありたい姿・政策）	教育振興 基本計画 （政策・施策）	整理 番号	事業名称	評価 （達成 状況）	課題と方向性	総合 評価 （方向性）
3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています (8)生涯にわたる学びの推進	２　生涯にわたる学びの推進 (1)生涯学習の機会の提供	21	二十歳のつどい開催事業	A	【課題】 　二十歳のつどい対象者数が減少傾向にあることから、式典のあり方等に関するアンケート調査結果を分析し、今後の方向性について各支所と検討を行い、見直していく必要がある。 【方向性】 　今後は対象者数の減少が見込まれるため、二十歳のつどいのあり方を協議し、開催方法等を検討していく。また、心に残る魅力ある式典となるよう、各支所と協議を行い、内容を見直しながら開催していく。	B
		22	青少年健全育成事業	B	【課題】 　青少年健全育成補助金については、社会教育活動団体等へ幅広く周知する必要がある。 　社会を明るくする運動は、保護司会と連携し、広報、啓発活動を継続的に実施していく必要がある。 　青少年の体験学習や活動状況については情報発信を行い、市民へ広く周知する必要がある。 【方向性】 　青少年健全育成活動をさらに拡充させるため、補助金について様々な情報媒体を活用して市民へ広く周知を行い、申請団体の増加につなげる。 　社会を明るくする運動については、作文や標語の募集を継続して行い、広く市民への周知・啓発活動に取り組む。 　青少年の体験学習や活動に関する情報発信については、「天草市体験学習サイト」（令和８年４月開設）を活用し、関連する部署や団体への周知及び情報収集や発信に取り組む。	B
		23	地域と学校の連携・協働体制構築事業	A	【課題】 　家庭教育支援事業については、家庭教育講座等の学習機会を提供し、周知啓発活動について関係機関と連携して取り組む必要がある。 【方向性】 　将来を担う子どもたちの育成及び家庭や地域の教育力向上のため、学校、子ども、家庭、地域、行政の五者連携によるコミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進を図っていく。 　放課後子ども教室及び家庭教育支援事業については、学習機会の提供や周知・啓発等に継続して取り組み、事業の充実を図っていく。また、未就学児期の家庭での生活が子どもの発育や成長に重要であるため、未就学児の保護者に対する「親の学び」プログラム講座を普及していく。	B

令和７年度　点検評価事業一覧

総合計画 （ありたい姿・政策）	教育振興 基本計画 （政策・施策）	整理 番号	事業名称	評価 （達成状況）	課題と方向性	総合 評価 （方向性）
		24	生涯学習推進事業	A	【課題】 講座の進め方や学習の機会、学習情報の発信の方法などを工夫し、市民の学習環境の充実につなげる必要がある。 【方向性】 幅広い年齢層や参加者のニーズに合わせた講座の企画、開催方法等の見直しを行い、多様な学習機会の提供に努める。また、市ホームページやケーブルテレビ、みつばちラジオ等を活用し、講座情報の発信を継続的に行っていく。	B
		25	移動図書館事業	A	【課題】 広大な面積の本市では、読書環境の地理的格差があり、また、利用者の高齢化等に伴い、新たな視点によるサービス展開が必要である。 【方向性】 移動図書館の資料を充実させ、デイサービス施設等の新規巡回先の獲得、巡回場所や貸出方法の見直しを行いながら、読書環境の地域格差解消を図っていく。	B
		26	読書活動推進事業	B	【課題】 読書に対する障壁をなくすため、電子図書館サービス等による図書館のＤＸ化を促進していく必要がある。 【方向性】 紙資料と電子資料を合わせたハイブリッドな図書館として、市民の読書活動及び学習活動を生涯にわたり支援していく。	B

令和７年度 主要な施策の成果に関する報告書（点検評価事業分）

【教育総務課】

１　姉妹都市教育交流事業
２　離島高校生修学費支援事業
３　小学校施設大規模改造事業
４　中学校施設大規模改造事業

【学校教育課】

５　学習指導補助事業
６　外国語指導助手招致事業
７　学校読書活動支援事業
８　幼保小の架け橋プログラム推進事業
９　中学校英語検定チャレンジ事業
10　小学校臨時教員配置事業
11　総合的な学習活動支援事業
12　心の教室相談事業
13　適応指導教室設置事業
14　中学校部活動地域移行推進事業
15　特別支援教育総合推進事業
16　教育相談事業
17　教育研究推進校補助金
18　小中学校ＩＣＴ整備事業

【学校給食課】

19　学校給食設備整備事業
20　学校給食（地産地消）推進事業

【生涯学習課】

21　二十歳のつどい開催事業
22　青少年健全育成事業
23　地域と学校の連携・協働体制構築事業
24　生涯学習推進事業
25　移動図書館事業
26　読書活動推進事業

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	2　多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっています			所属	教育部 教育総務課 総務企画係
政策	(5)　ともに認め合う多文化共生社会の実現			款	09　教育費
事業名称	03　姉妹都市教育交流事業			項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,851,825					3,851,825	344,042

事業費内訳

節	節名称	金額
08	旅費	836,731
11	役務費	42,748
13	使用料及び賃借料	121,070
18	負担金補助及び交付金	2,851,276

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
本市の姉妹都市である米国エンシニータス市と相互に中学生の派遣、訪問団の受入れを行うことにより、異文化交流や外国語を学び、市民生活や学校生活を体験しながら国際交流を深め、幅広い視野と国際感覚を身に付け、21世紀の郷土を担う心身ともに逞しい青少年の育成を図る。
【効果】
国際感覚豊かな人材の育成及び国内外の交流により地域の活性化につながる。

事業実績

姉妹都市であるアメリカ合衆国カリフォルニア州エンシニータス市へ中学生6人、教職員1人、市職員1人を派遣した。派遣期間中はホームステイを体験し、交流を行った。

【実施期間】令和7年7月29日～8月7日（10日間）

○姉妹都市教育交流事業補助金
・中学生の渡航費補助（6人分）376,940円×6人＝2,261,640円
・教職員の渡航費用（1人分）　589,636円

○その他経費
・市職員の旅費（1人分）　836,731円
・通信料　42,748円
・参加者送迎用小型バス借上料　121,070円

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
受入れ・派遣人数	人	目標値	7	4	8	6	8
		実績値	7	4	8		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
中学生を姉妹都市エンシニータス市へ派遣することにより、生徒が異文化体験と生きた外国語に触れることができ、幅広い視野と国際感覚を養うことができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 教育総務課 教育改革推進係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実			款	09　教育費
事業名称	02　離島高校生修学費支援事業			項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	平成25年度　～　令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,630,000	1,666,000	297,000			1,667,000	4,057,300

事業費内訳

節	節名称	金額
18	負担金補助及び交付金	3,630,000

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額
国	国庫支出金・離島活性化交付金等事業費	1,666,000
県	県支出金・御所浦地域振興策事業費	297,000

事業の目的・効果

【目的】
　離島振興法第15条に基づき、御所浦地域から天草市内外の高等学校等に通学する生徒の保護者の経済的負担を軽減し、もって離島における生徒の修学機会を確保する。
【効果】
　高等学校等が設置されていない御所浦地域の高校生が、安心して勉学に打ち込める環境を整備することができ、本市における教育機会の均等が図られる。

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
補助対象者数（離島高校生修学支援事業）	人	目標値	58	42	36	28	34
		実績値	47	35	31		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業実績

○離島高校生修学支援補助金　　3,630,000円
　御所浦地域から高等学校等へ通学する際の定期航路費（13,000円/月、18,000円/月）及び下宿費等（上限10,000円/月）を助成
　・通学費　　2人　　594,000円
　・下宿費等　29人　　3,036,000円
　　（内訳）天草市内14人、市外15人

○御所浦航路利便性強化事業補助金　0円
　御所浦地域から天草高校倉岳校へ通学する生徒が部活動等で定期船が利用できない場合に海上タクシー利用料金の全額を助成
　・利用実績なし（制度対象者0人）

事業の成果等

○財源
　・通学費補助　　国1/4　県1/2
　・下宿費等補助　国1/2
　・御所浦航路通学利便性強化補助金　県10/10

【成果】
　離島である御所浦地域の高校生の修学機会が確保された。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 教育総務課 施設係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実			款	09　教育費
事業名称	02　小学校施設大規模改造事業			項	02　小学校費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	03　小学校建設費

決算額	財源内訳 国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	前年度決算額
26,216,428					26,216,428	36,152,728

事業費内訳

節	節名称	金額
12	委託料	6,798,000
13	使用料及び賃借料	1,002,228
14	工事請負費	18,416,200

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
学校施設の大規模な改修工事を行い、児童が心地よく学習ができるよう教育環境の改善を図る。
【効果】
学校教育の円滑な実施と施設の耐久性を確保することができる。また、学習環境を整えることで意欲的に学習に取り組むことにつながる。

事業実績

○設計等委託料　6件　6,798,000円
・楠浦小学校トイレ改修工事監理業務委託　1,056,000円
・本渡北小学校校舎中性化診断業務委託（2件）　924,000円
・本渡北小学校地質調査業務委託（2件）　1,980,000円
・本渡北小学校改築に伴う事前調査業務委託　2,838,000円
○使用料及び賃貸料　1件　1,002,228円
・本渡北小学校仮設校舎賃貸借
○工事請負費　2件　18,416,200円
・楠浦小トイレ改修（建築・設備）工事　18,416,200円

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
大規模改造小学校数	校	目標値	1	1	2	1	2
		実績値	1	1	1		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
トイレ改修については、洋式化率90.1%・乾式清掃方式15校となり、衛生環境の向上に寄与した。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています	所属	教育部 教育総務課 施設係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実	款	09　教育費
事業名称	02　中学校施設大規模改造事業	項	03　中学校費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	03　中学校建設費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,306,316					27,306,316	90,057,000

事業費内訳

節	節名称	金額
14	工事請負費	27,306,316

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
学校施設の大規模な改修工事を行い、生徒が心地よく学習ができるよう教育環境の改善を図る。
【効果】
学校教育の円滑な実施と施設の耐久性を確保することができる。また、学習環境を整えることで意欲的に学習に取り組むことにつながる。

事業実績

○工事請負費　2件　27,306,316円
・河浦中学校1階トイレ改修（建築・設備）工事　27,306,316円

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
大規模改造中学校数	校	目標値	2	2	1	1	2
		実績値	2	2	1		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
トイレ改修については、洋式化率83.9%・乾式清掃方式12校となり、衛生環境の向上に寄与した。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 学校教育課 教務係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実			款	09　教育費
事業名称	42　学習指導補助事業			項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
149,505,817					149,505,817	131,642,527

事業費内訳 節	節名称	金額
01	報酬	104,240,448
03	職員手当等	20,904,908
04	共済費	20,780,253
08	旅費	3,420,668
12	委託料	159,540

財源内訳 区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
　小学校及び中学校において、小・中学校等の教員免許状を持つ者を補助教員として配置し、ティーム・ティーチング等きめ細やかな指導を行い、また、教員免許を必要としない教育活動支援員を配置し、学校生活における支援や介助を行うことで、児童生徒の発達段階に応じた学校教育の実現を図る。
【効果】
　担任教諭と補助教員や教育活動支援員がティーム・ティーチングで児童生徒一人一人に目が行き届いた細やかな学習指導を行うことで、学習態度や集団生活等の基礎的事項の定着・向上が図られる。また、日本語指導が必要な児童生徒の生活環境の整備、学力向上が図られる。

事業実績

○学習指導補助教員及び教育活動支援員の配置
　市内の小学校1学年、2学年に31人以上の学級がある学校や特別な支援を要する児童生徒が在籍する学級を抱える学校に対して、授業支援や生活支援を行う会計年度任用職員を配置した。
・学習指導補助教員報酬等　149,346,277円（48人分）
〔配置状況〕
・小学校1学年、2学年に31人以上の学級で特に配慮を要する学級への配置　3人
・特別支援学級ほか特に配慮を要する学級への配置　45人

○外国人児童生徒等への日本語指導業務の実施
　日本語指導が必要な児童・生徒に対して、委託契約を締結した団体の日本語指導員が、児童生徒が通う学校に出向き、日本語指導を行った。
・日本語指導業務委託料　159,540円（中学生1人）

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
学習指導補助教員・教育活動支援員数	人	目標値	40	50	48	48	48
		実績値	41	48	48		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
　市内の小学校及び中学校に補助教員等を配置し、きめ細やかな指導を行うことで、児童生徒の発達段階に応じた学校教育の実現が図られた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 学校教育課 教務係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実			款	09　教育費
事業名称	43　外国語指導助手招致事業			項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
60,940,207				2,106,240	58,833,967	55,593,640

事業費内訳

節	節名称	金額
01	報酬	45,571,712
04	共済費	7,266,611
07	報償費	30,000
08	旅費	1,472,744
10	需用費	32,780
13	使用料及び賃借料	4,104,000
18	負担金補助及び交付金	2,462,360

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額
他	諸収入・外国語指導助手家賃本人一部負担金	2,106,240

事業の目的・効果

【目的】
　子どもたちが国際交流や異文化交流を通じて生きた英語に触れ、コミュニケーションの楽しさを学びながら、グローバルな視点と実践的な英語力を育む。
【効果】
　外国語指導助手を公立幼稚園、小・中学校に巡回配置することで、生きた英語に触れる貴重な機会となり、子どもたちの英語学習への興味や意欲を高めることが期待できる。また、異文化交流を通じて多様な価値観に触れることで、国際的な視野を持つグローバル人材の育成や、教員の指導力向上にも貢献し、教育全体の質の向上にも寄与する。

事業実績

　外国語指導助手を公立幼稚園、市内小・中学校に巡回方式で配置し、担任や英語専科教員とのティーム・ティーチングにより語学指導等を行った。

・外国語指導助手報酬等　52,838,323円（11人分）
・使用料及び賃借料　4,104,000円
・負担金補助及び交付金　2,462,360円
・旅費　1,472,744円
・需用費　32,780円
・報償費　30,000円

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
外国語指導助手数	人	目標値	11	11	11	11	11
		実績値	11	11	11		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
　外国語指導助手を公立幼稚園、市内小・中学校に巡回方式で配置し、担任や英語専科教員と連携して授業等を行い、生きた外国語を学ぶ機会を提供することができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 学校教育課 教務係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実			款	09　教育費
事業名称	44　学校読書活動支援事業			項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
51,546,495					51,546,495	47,805,153

事業費内訳	節	節名称	金額	財源内訳	区分	款・節以下名称	金額
	01	報酬	34,682,562				
	03	職員手当等	6,943,891				
	04	共済費	6,985,147				
	08	旅費	1,658,900				
	10	需用費	87,500				
	12	委託料	165,000				
	17	備品購入費	1,023,495				

事業の目的・効果

【目的】
学校教育において、児童の豊かな感性を磨き、表現力を高め想像力を豊かにし、情報活用能力を向上させるなど効果的な読書活動や多様な学習活動を推進する。
【効果】
図書室の環境整備及び図書の整備が行われ、子どもたちの本への関心が高まるなど、学校教育における効果的な読書活動が推進され、学校図書教育の充実が図られる。

事業実績

図書館業務の専門的知識を有する学校司書を市内の小・中学校（30校）に、2校に1人の割合で巡回配置した。ただし、学校規模（蔵書数、貸出冊数等）により、本渡北小、亀川小については、1人を専属で配置した。

○学校司書の配置
- 学校司書報酬等　50,270,500円（16人分）
- 図書システム保守経費　165,000円
- 図書システム更新等　1,023,495円
- 消耗品　87,500円

- 図書貸出冊数
  R6年度　417,795冊　→　R7年度　381,561冊

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
学校司書配置数		目標値	16	16	16	16	16
	人	実績値	16	16	16		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
図書館業務の専門的知識を有する学校司書を各学校に配置し、学校図書システム等を活用した効果的な読書活動や蔵書の整備、図書室の視覚的な環境整備を行うことで、学校図書館教育の充実が図られ、子ども達の本への関心を高めることができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 学校教育課 指導係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実			款	09　教育費
事業名称	08　幼保小の架け橋プログラム推進事業			項	01　教育総務費
事業分類	新規事業	事業年度	令和 7年度　～　令和 8年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
154,521		154,521			0	0

事業費内訳

節	節名称	金額
07	報償費	30,000
08	旅費	75,274
10	需用費	24,497
17	備品購入費	24,750

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額
県	県支出金・教育支援体制整備事業費交付金	154,521

事業の目的・効果

【目的】
　施設類型を問わず、幼保小の関係者が連携・協働し、子どもの発達や学びの連続性を確保したカリキュラムの作成や教育方法の改善を図るための体制構築を行う。
　また、このことを通して、市内幼稚園・保育所等・小学校のすべての幼児及び児童一人一人がより平等に教育を受け、その後の学びへと接続できるようにする。
【効果】
　推進校においては、架け橋期のカリキュラムの実践・評価・改善を行い、学びの連続性を確保した架け橋期の教育の充実と、子どもたちへの質の高い教育を保障し、天草市全体に浸透できるよう取組の充実を図る。
　市においては、関係部局が連携して研修や取組について発信を行うことで、推進校の研究支援及び市内全域の架け橋期の教育に関する理解の深まりが見込まれる。
　このようにして、園・学校・行政関係者等が一体となって、架け橋期の充実に取り組んでいくための体制構築がなされる。

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
会議等の実施	回	目標値			8	8	
		実績値			6		
架け橋期のカリキュラムの作成及び運用	小学校区	目標値			1	5	
		実績値			1		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業実績

○幼保小の架け橋プログラム　154,521円

推進校…天草市立本渡北小学校
①幼保小の関係者が連携・協働した架け橋期のカリキュラムの作成、実施、改善に向けて取り組んだ。
　・架け橋会・連携推進会議（年２回）
　・架け橋会・連携担当者会議（年４回）
　・交流活動（1年生、5年生と園児の交流　年１６回）
②幼保小の関係者が連携・協働した架け橋期のカリキュラムの作成、実施、改善を図るための体制を構築した。
　・先進地視察から学び、組織体制の確立をした。
　・モデル地域の実践をそのまま市全体のカリキュラム化はせず、各学校区の特性・経営方針を反映した対話の場の設置と、共通視点を取り入れたカリキュラム作成への着手を推進した。

事業の成果等

【成果】
・校長会議や園長会議、主任会議などで事業の説明など啓発活動を行い、周知ができた。
・各学校区の特性・経営方針を反映した対話の場の設置と、共通視点を取り入れたカリキュラム作成への着手の推進を行った。
・園や学校訪問による、実態の把握や園・校内研修サポートを行った。（事業の説明、推進校の進捗、組織体制の確立案など）
　研修実施校：本渡北小、御所浦小、亀川小、楠浦小、新和小

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています	所属	教育部 学校教育課 指導係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実	款	09　教育費
事業名称	68　中学校英語検定チャレンジ事業	項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	令和元年度　～　令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,183,900		777,000			4,406,900	5,505,600

事業費内訳

節	節名称	金額
18	負担金補助及び交付金	5,183,900

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額
県	県支出金・中学校英語検定チャレンジ事業費	777,000

事業の目的・効果

【目的】
　中学生の英語力向上のため、生徒の保護者に対し、受験料の補助を行い、英語検定等の外部検定試験への積極的な挑戦を支援する。
【効果】
　英語検定受験に係る保護者の経済的負担を軽減し受験機会を拡大することで、本市中学生の英語力の水準及び英語学習に対する意識・意欲の向上が期待される。

事業実績

○中学校英語検定チャレンジ事業補助金　5,183,900円
・補助対象者
　市内中学校に在籍し、英語検定を受験した中学生の保護者
　（英語検定を受験した中学生１人につき年１回）
・補助対象英語検定
　公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定
・補助額
　受験料の全額
〔実績〕
・受験者数1,503人（中学生総数1,754人）
・受験率　　中学校1年生 89.7%
　　中学校2年生 86.9%
　　中学校3年生 81.1%

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
英検受験者数		目標値	1,886	1,831	1,756	1,667	1,653
	人	実績値	1,512	1,589	1,503		
英検受験率		目標値	100	100	100	100	100
	%	実績値	80	87.5	85.7		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

○財源　県1/3※中学校3年生のみ

【成果】
　検定料の公費負担により、R7受験率は85.7%、1,503人と多くの生徒に受験の機会を提供することができた。
　外部検定への積極的な挑戦を支援することで、生徒が身近に英語力向上を目指せる環境を整え、英語学習への意識・意欲を高める契機となった。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 学校教育課 教務係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実			款	09　教育費
事業名称	21　小学校臨時教員配置事業			項	02　小学校費
事業分類	継続事業	事業年度	令和 3年度　～　令和10年度	目	01　小学校管理費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,701,334					15,701,334	14,990,354

事業費内訳

節	節名称	金額
02	給料	9,349,000
03	職員手当等	4,080,409
04	共済費	2,238,715
08	旅費	33,210

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
学びの保障の観点から、市費により教員を雇用することにより複式学級を解消し、児童の学習機会を保障する。
【効果】
複式学級の単式学級化により、児童の学習機会が保障され、一人一人の児童に対してきめ細やかな指導ができる。

事業実績

児童数の減少により複式学級が生じた学校に、市費による教職員を雇用し配置することで、複式学級を解消した。

○小学校臨時教員の配置
・小学校臨時教員給料等　15,701,334円（3人分）

・配置校　倉岳小学校（1人）、天草小学校（2人）

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
配置教員数	人	目標値	3	4	3	6	6
		実績値	3	3	3		
複式が解消された学級数	学級	目標値	3	4	3	6	6
		実績値	3	3	3		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
複式学級を単式学級化することにより、児童の学習機会が保障され、1人1人の児童に対してきめ細やかな指導をすることができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています	所属	教育部 学校教育課 教務係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実	款	09　教育費
事業名称	13　総合的な学習活動支援事業	項	01　教育総務費
事業分類	継続事業 ／ 事業年度 平成18年度 ～ 令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,360,693					9,360,693	6,778,107

事業費内訳

節	節名称	金額
07	報償費	35,000
08	旅費	8,900
11	役務費	70,000
13	使用料及び賃借料	9,246,793

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
　総合的な学習の時間については、学習指導要領が適用される全ての学校が取り組む必要がある。子どもたちの学習の場を市内全域に広げ、天草の伝統・文化・自然・歴史等とふれあい、体験活動を通して自分で考え、主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決する力を育むなど「生きる力」を育成する。また、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成地域の一つである﨑津集落の現地学習や「御所浦恐竜の島博物館」見学などを行い、地域の貴重な歴史的遺産等について理解を深める。
【効果】
　自然体験や社会体験、観察、実験、調査などの学習を行うことにより、児童生徒の学習意欲の向上に結びつく。

事業実績

○総合的な学習活動に係る経費　2,133,968円
　・講師謝礼　35,000円
　・旅費　8,900円
　・車両借上料　1,976,168円
　・船舶借上料　50,000円
　・入場料　63,900円
○世界遺産学活動に係る経費　1,561,187円
　（対象：中学1年生）
○地球の歴史探究学に係る経費　3,142,754円
　（対象：小学6年生）
○イルカとの共生事業に係る経費　2,522,784円
　（対象：小学4年生）
○総合的な学習活動内容
　・小学校…社会施設見学、職業講話、歴史・自然体験学習等
　・中学校…職業体験、職業講話、地域の歴史・自然体験学習等

活動指標

指標名	単位		目標値/実績値	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
御所浦恐竜の島博物館見学実施校数（小学校）	校		目標値		17	17	17	17
			実績値		17	17		
世界遺産現地学習実施校数（中学校）	校		目標値	13	13	13	13	13
			実績値	13	13	13		
イルカとの共生事業～自然を生かしたまちづくり～実施校数(小学校)	校		目標値			17	17	17
			実績値			17		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

事業の成果等

【成果】
　体験等学習を推進することにより、学習意欲の向上と地域の貴重な歴史的遺産等について理解を深めることができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています	所属	教育部 学校教育課 教務係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実	款	09　教育費
事業名称	45　心の教室相談事業	項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度 ～ 令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,861,266					7,861,266	6,706,120

事業費内訳

節	節名称	金額
07	報償費	7,434,000
08	旅費	402,426
11	役務費	24,840

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
　中学校の相談室に相談員を配置し、不登校気味の生徒の適応問題や問題行動等に関係する生徒の教育相談等を実施し、問題解決に向けた指導、援助、保護者との連携推進を図る。
【効果】
　相談員は、担任等に対する相談と違って、気軽に話しができることで予防的介入ができ、安心感や心のゆとりが生まれ、問題解決への糸口が見出された。教室に入ることができない不登校気味の生徒が、相談室までは登校するようになるなど、教室復帰への支援にもつながっている。学校教育に関わる不登校、いじめ等さまざまな問題の解決に寄与している。

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
心の教室相談員	人	目標値	13	13	13	19	19
		実績値	12	12	12		
相談件数	件	目標値	7,500	5,000	5,000	8,000	8,000
		実績値	5,126	5,636	7,563		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業実績

　中学校（13校）の相談室等に心の教室相談員を配置し、不登校気味の生徒の適応問題や問題行動等に関係する生徒の教育相談等を実施し、問題解決に向けた指導、援助を行った。
○心の教室相談員の配置
・心の教室相談員活動謝礼等　12人（13校）分　7,861,266円
※稜南中と御所浦中は兼務

〔相談員活動内容〕
・教育相談、相談室登校への対応、保護者との連携推進など
・R7 相談件数　7,563件
（主な内訳）不登校、いじめ、友人問題　162件
教員の指導、非行等問題行為　39件
家族や自分自身に関する問題　1,356件
進路、部活、クラスの相談　294件
学習補助、付添、情報交換等　5,712件

事業の成果等

【成果】
　市内の全中学校に心の教室相談員を配置し、生徒の様々な悩み相談等に対して指導・助言を行ったことで、生徒のストレス軽減や安心感、心のゆとりが生まれるなど心のケアをすることができた。また、相談の内容によっては、学校関係者や関係機関、専門家等に繋ぎ、解決を図った。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 学校教育課 教務係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実			款	09　教育費
事業名称	46　適応指導教室設置事業			項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳 国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	前年度決算額
6,846,665					6,846,665	6,506,498

事業費内訳

節	節名称	金額
01	報酬	4,732,488
03	職員手当等	966,212
04	共済費	931,499
08	旅費	111,600
10	需用費	75,770
11	役務費	29,096

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
　様々な理由で学校に通学できない生徒の受け皿として、適応指導教室教員を配置し、心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある生徒(市内中学校)に対して、「引きこもり」の防止及び学校復帰等を目指す。
【効果】
　学校に登校できない子供たちに教育を受ける機会を別に提供する事業として、その存在意義は大きく、通級する生徒は義務教育期間であるため、不登校の解消にもつながっている。年間５～１０名の対象生徒の利用がある。

事業実績

　複合施設ここらすの一室に本渡中学校の分教室として適応指導教室「カワセミ学級」を設置し、心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある生徒に対して、引きこもりの防止及び学校復帰等を目的とした指導・援助を行った。

○適応指導教室教員の配置
・適応指導教室教員報酬等　6,741,799円　（2人分）
・その他教材費等　104,866円

〔実績〕
・通級生徒数　9人（うち学校へ復帰した生徒数 0人）
・開級日：学校授業日のうち月曜日から金曜日　201日

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
開設日数	日	目標値	201	201	201	201	201
		実績値	201	199	201		
学校に復帰した児童生徒の割合	%	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
		実績値	9.1	6.3	0		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
　心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある生徒に対して、安心して過ごせる居場所の提供及び教育を受ける機会や社会とつながる機会を提供することができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 学校教育課 指導係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実			款	09　教育費
事業名称	06　中学校部活動地域移行推進事業			項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	令和 6年度　～　令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳 国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	前年度決算額
12,836,551		6,354,000			6,482,551	6,600,140

事業費内訳

節	節名称	金額
01	報酬	10,723,480
03	職員手当等	345,450
04	共済費	346,721
07	報償費	5,000
08	旅費	1,415,900

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額
県	県支出金・部活動支援員配置事業費	6,354,000

事業の目的・効果

【目的】
国及び県が示す「改革推進期間（令和５年度～令和７年度）」に伴い、休日の部活動の地域移行を推進する。
【効果】
児童生徒のスポーツ及び文化的活動を持続的に維持・支援しつつ、教職員の時間外勤務時間の縮減が図られる。

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
部活動指導員を配置した学校数	校	目標値		13	13	13	13
		実績値		10	12		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業実績

○中学校部活動地域移行コーディネーターを中心に、推進協議会を３回実施し、「天草市立小・中学校部活動地域移行推進協議会設置要綱」、「部活動人材バンク設置要綱」を策定した。また、次年度に向けて、「天草市立小・中学校部活動地域展開推進本部設置要綱」を策定し、今後の方向性を示した。
○学校部活動改革部会を３回実施し、推進協議会や校内部活動検討委員会に向けた情報共有等を行った。
○昨年度の反省を受け、学校の指導者、地域の指導者、協会等、対象を幅広く捉え、部活動地域展開への周知を図った。
・部活動指導員報酬等　10,246,720円
・中学校部活動地域移行コーディネーター報酬等　2,384,171円
・推進協議会委員報酬等　200,660円
・研修講師謝礼　5,000円

事業の成果等

【成果】
部活動指導員28名を学校に配置し、部活動顧問の指導時間を年間25%削減することができた。
また、策定した推進計画やガイドラインを市及び学校のホームページや市の公式LINEに掲載することで情報発信を行うとともに、中学校の保護者や教職員、スポーツ協会に所属している地域スポーツ団体の指導者向けに対面形式での研修会やオンデマンドで、天草市の部活動地域展開に向けてのスケジュール等を啓発し、理解を深めることができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています	所属	教育部 学校教育課 指導係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実	款	09　教育費
事業名称	62　特別支援教育総合推進事業	項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	平成25年度　～　令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
316,807					316,807	349,561

事業費内訳

節	節名称	金額
08	旅費	296,127
10	需用費	20,680

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
社会の変化や子どもの障がいの重度・重複化、多様化に対応し、発達障害を含む障がいのある子どもや特別な支援を必要とする子ども一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育や必要な支援の実施に向けて、幼稚園・保育所（園）・学校・教育委員会・学識経験者・関係機関・保護者等の関係者からなる天草市特別支援教育連携協議会及び中学校区ごとの地区連携協議会を設置し、天草市の特別支援教育の総合的な支援体制の整備及び特別支援教育の推進を図る。
【効果】
児童生徒一人一人の個性と能力を十分に発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成が期待できる。

事業実績

天草市特別支援教育連携協議会及び地区連携協議会を設置・運営し、特別な支援が必要な園児、児童、生徒について、学校関係者や保護者を対象とした特別支援学校教諭や療育相談員による巡回相談を実施した。
・天草市特別支援教育連携協議会推進会議（2回）
・地区連携協議会（13区）
・天草市特別支援教育研修会（コーディネーター研修）（1回）
・実務担当者会議（4回）
・リーダーコーディネーター研修（2回）
〇会議、研修に係る費用弁償等　91,868円
〇巡回相談に係る費用弁償等　204,259円
・巡回相談（173件※対象：幼・保・学校関係者、保護者）
〇需用費　20,680円

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
会議等の開催	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
巡回相談達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
会議、研修会、各地区推進会議及びコーディネーター会議を計画どおり実施することができた。
また、巡回相談については、R7年度は173件の相談依頼に対応し学校関係者や保護者に対し特別な支援についての助言を行うとともに、相談内容に応じて適切に関係機関へとつなぐことができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています	所属	教育部 学校教育課 指導係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実	款	09　教育費
事業名称	63　教育相談事業	項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度 ～ 令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,840,944					3,840,944	3,758,394

事業費内訳

節	節名称	金額
01	報酬	1,710,720
03	職員手当等	349,272
04	共済費	332,232
07	報償費	1,058,680
08	旅費	390,040

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
　教育相談員（教育相談カウンセラー、教育指導アドバイザー）を配置し、子育ての悩み・不安・ストレス等を持つ就学前幼児の保護者及び、小中学校の児童生徒やその保護者を対象にした相談活動を充実させ、保護者の子育てを支援するとともに、必要に応じて教職員の悩みや学校での諸問題についての相談を実施し、解決に向けてサポートする。
【効果】
　子育ての悩み・不安・ストレス等の解消に向けた相談活動を充実させ、心豊かに生きる子どもの育成が期待できる。

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
教育相談日数	日	目標値	40	40	40	40	40
		実績値	37	39	39		
相談件数に対するカウンセリング実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業実績

○教育相談カウンセラーの配置　　1,448,720円
　臨床心理士、言語聴覚士等の有資格者（4人）を任用し、要請のあった学校や幼稚園に出向き、児童・生徒のカウンセリング等を実施した。助言指導や情報の提供のほか、教職員研修の講師や要望があれば簡易検査等を行った。
　・相談39日実施、個別相談52件、研修会2件

○教育指導アドバイザーの配置　　2,392,224円
　会計年度任用職員（1人）を任用し、教員や保護者等に対し、教育全般の指導助言を実施した。
　・教員への指導助言　58件
　・特別な支援が必要な児童生徒の状況確認や研修会助言等　29件
　・校長会議等運営支援　27件
　・市立幼稚園や小中学校に対する訪問指導（全施設年1回）

事業の成果等

【成果】
　専門的なアドバイスが受けられることにより、保護者や児童・生徒の不安やストレスが軽減され、園や学校等からもその後の支援方法や関係機関との連携など個々に応じた支援体制を整えることができたと非常に高い評価を受けている。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています	所属	教育部 学校教育課 指導係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実	款	09　教育費
事業名称	66　教育研究推進校補助金	項	01　教育総務費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,000,000					1,000,000	1,000,000

事業費内訳

節	節名称	金額
18	負担金補助及び交付金	1,000,000

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
　絶え間ない技術革新とグローバル化が進展する変化の激しい社会に、主体的に対応し、たくましく生きる人材の育成を図るため、学校教育に求められている今日的な課題について学校および地域の実態に即して研究を深める。また、その成果を普及することにより本市教育の振興に資する。
【効果】
　教師の授業力向上と児童生徒の学力向上が期待できる。

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		目標値					
		実績値					
指定校数		目標値	5	5	10	10	10
	校	実績値	5	10	10		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業実績

○市指定教育研究推進校補助金　　1,000,000円
〔実績〕
・本渡南小：学力充実・ICT活用　6/26,2/19公開授業
・本渡中　：学力充実・ICT活用　10/3公開授業
・亀川小　：学力充実・ICT活用　2/19公開授業
・稜南中　：学力充実・ICT活用　10/3公開授業
・本渡北小：学力充実・ICT活用　11/4公開授業
・牛深東小：学力充実・ICT活用　11/13公開授業
・栖本小　：天草体験学習　12/10公開授業
・河浦小　：学力充実・ICT活用　11/13公開授業
・御所浦中：教科等教育（総合的な学習の時間）
　12/12公開授業
・五和中　：学力充実・ICT活用　11/4公開授業
※指定校は、研究成果を公開授業を通して他校に発信・共有した。

事業の成果等

【成果】
　それぞれの学校の研究成果を天草市全体に還元し、天草市の児童生徒の学力充実に貢献するとともに、天草体験学習の充実を図ることができた。
　R7年12月実施の県学調質問紙では、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか」という設問に対して、「思う」と回答した児童生徒が8割を超える結果となり、自律した学習者へと意識が変化していることも大きな成果であったといえる。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 学校教育課 教務係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実			款	09　教育費
事業名称	12　小中学校ＩＣＴ整備事業			項	01　教育総務費
事業分類	拡充事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	03　教育振興費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
380,152,875	900,000	195,021,000		145,367,254	38,864,621	105,935,958

事業費内訳

節	節名称	金額
07	報償費	300,000
08	旅費	1,290,683
10	需用費	1,485,774
11	役務費	8,598,942
12	委託料	28,259,660
13	使用料及び賃借料	21,176,562
17	備品購入費	319,041,254

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額
国	国庫支出金・リーディングＤＸスクール事業委託金	900,000
県	県支出金・公立学校情報機器購入事業費	195,021,000
他	繰入金・ふるさと応援寄附基金繰入金	145,100,000
他	寄附金・学校備品購入寄附金	267,254

事業の目的・効果

【目的】
　市内の小・中学校へＩＣＴ機器を整備することにより学校における情報化への対応を進め、①情報活用の実践力、②情報の科学的な理解、③情報社会に参画する態度の３つの観点から児童・生徒の情報活用能力の育成を図るとともに、校務の効率化を図る。
【効果】
　課題探求型の学習など学習者の生活意欲、学習意欲、知的好奇心を引き出し、児童生徒が自ら学ぶ力を育むとともに、児童生徒の学力向上が期待でき、校務の効率化を図ることができる。

事業実績

○講師等謝礼(6名分)	300,000円
○研修旅費	1,290,683円
○ICT機器（タブレット、書画カメラ等）の修繕	899,921円
○消耗品費	585,853円
○ネットワーク通信料等	6,050,330円
○機器設定手数料等	2,548,612円
○ICT支援員業務委託料	27,572,160円
○学校ネットワーク整備業務委託	687,500円
○授業目的公衆送信補償金	363,792円
○校務支援ソフト使用料等	20,812,770円
○【拡充】児童生徒用パソコン（5,300台）購入	306,016,700円
○校務用PC40台等その他のICT機器購入	13,024,554円

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
児童生徒用パソコン更新台数	台	目標値			5,510	0	0
		実績値			5,300		
校務用パソコン更新台数	台	目標値	200	240	0	31	0
		実績値	240	240	40		
ＩＣＴ支援員の数	人	目標値	4	4	5	5	5
		実績値	4	4	7		
公開授業・公開校内研修の実施	回	目標値		4	4	10	10
		実績値		12	12		
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
　リーディングＤＸスクール事業に取組んだことで、タブレット端末の活用がさらに進み、児童生徒が主体的に学んだり、教員の授業改善や校務ＤＸが推進された。また、ICT支援員によるサポートの充実や学習支援ソフトの導入、児童生徒用タブレット端末の更新など、児童生徒がタブレット端末を活用して学習する環境を充実させることができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています	所属	教育部 学校給食課 管理係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実	款	09　教育費
事業名称	12　学校給食設備整備事業	項	06　学校給食費
事業分類	継続事業 ／ 事業年度 平成18年度 ～ 令和10年度	目	01　学校給食費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
133,692,430			107,100,000		26,592,430	41,930,885

事業費内訳

節	節名称	金額
11	役務費	26,780
12	委託料	4,708,000
13	使用料及び賃借料	171,820
14	工事請負費	115,386,616
17	備品購入費	13,392,614
26	公課費	6,600

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額
市	市債・共同調理場施設整備事業債	107,100,000

事業の目的・効果

【目的】
衛生管理の改善充実を行うため、耐用年数を超過及び老朽化した設備機器を計画的に更新することにより、安全・安心でおいしい給食を提供する。
【効果】
各給食センターの設備機器を更新することにより、安全で良質な給食を安定的に提供することが出来る。

事業実績

○役務費（車両購入にかかわる諸費用）　26,780円
○委託料
・設備改修工事監理業務委託（牛深）他　4,708,000円
○賃借料
・スポットクーラーリース料（五和）　171,820円
○工事請負費
・機械設備・電気設備その他改修工事（牛深）　57,812,000円
・空調設備工事（御所浦・五和・天草）　50,765,000円
・蒸気ボイラ取替(牛深)、搬入口整備工事(有明)他　6,809,616円
○備品購入費
・真空冷却機更新（御所浦）、配送用コンテナ更新2台（牛深）
パススルー冷蔵庫更新（牛深）食缶等購入 他　11,336,489円
・配送車購入1台（有明）　2,056,125円
○公課費（重量税）　6,600円

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
設備整備件数	件	目標値	5	4	3	7	1
		実績値	9	7	11		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
老朽化した設備機器の更新等により、安全で良質な給食を提供することができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 学校給食課 管理係
政策	(6)　子どもたちの学びの充実			款	09　教育費
事業名称	18　学校給食（地産地消）推進事業			項	06　学校給食費
事業分類	統合事業	事業年度	令和 7年度　～　令和10年度	目	01　学校給食費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
346,017,516	4,531,000			307,013,304	34,473,212	0

事業費内訳

節	節名称	金額
10	需用費	346,017,516

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額
国	国庫支出金・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	4,531,000
他	諸収入・学校給食費収入	264,065,304
他	繰入金・ふるさと応援寄附基金繰入金	42,800,000
他	寄附金・ふるさと応援寄附金	148,000

事業の目的・効果

【目的】
　児童及び生徒の心身の健全な発達のために学校給食を実施する。
　また、学校給食に天草産食材を使用し、地産地消を推進するとともに、学校給食の食材費の値上がり分を助成することにより、保護者の負担軽減を図る。
【効果】
　学校給食の地産地消を推進することで、児童生徒が地域の食文化や産業、自然の恩恵に対する理解を深め、食材を提供してくれる人たちへの感謝の心を育むことにつながるとともに、保護者の負担軽減を図ることにより、子育てしやすい環境づくりにつながる。

事業実績

○徴収した学校給食費から賄材料費を支出した。
　・事業費　267,937,625円
　・対象者　園児・児童・生徒、職員等　5,765人
○学校給食の食材費の値上がり分を助成する。
　・事業費　62,343,838円
　・1人当たり　12,865円
　・対象者　市内の小中学生、幼稚園児
　　4,846人（小学生3,053人、中学生1,755人、幼稚園児38人）
○月２回程度、天草産食材を使用した給食を提供した。
　・事業費　15,736,053円
　・肉　7回（牛肉2回、豚肉3回、天草大王2回）
　・魚　8回
　・野菜 21回

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
天草産食材の日実施回数	回	目標値			24	24	24
		実績値			36		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
　天草産食材を積極的に使用し、前期基本計画の目標値25.8%を上回る32.4%となり地産地消の推進が図られた。
　また、物価高騰による食材費の値上げ分の助成については、値上げ分全てを助成し、保護者の経済的な負担を軽減した。
　給食だより等で、天草産食材をＰＲすることで児童生徒園児等の興味・関心を高め食育につながった。
※令和7年度より「地産地消（学校給食）推進事業」、「学校給食管理運営経費」の賄材料費を統合

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 生涯学習課 生涯学習推進係
政策	(8)　生涯にわたる学びの推進			款	09　教育費
事業名称	03　二十歳のつどい開催事業			項	07　社会教育費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	01　社会教育総務費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
914,112					914,112	859,954

事業費内訳

節	節名称	金額
10	需用費	131,832
11	役務費	18,000
12	委託料	764,280

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
　二十歳という人生の節目を迎え、大人としての生き方を考え決意する場、友人と再会し、その喜びに浸るとともに、今後の生き方を語り合い励ましあう場、家族が子ども・孫の成長を実感し喜びを分かち合い、家族への感謝を感じる場とする。
【効果】
　地域の来賓や保護者に見守られながら、多くの友人や恩師とともに「二十歳のつどい」に参加することで、二十歳という人生の節目に、大人としての責任と義務を自覚する機会となり得る。また、友人や恩師と久しぶりに再会し語り合う良い機会となる。

事業実績

〇二十歳のつどいの開催に係る経費　914,112円
・各地区ごとに、10地区で開催
　8月16日　牛深
　1月 3日　本渡、有明、御所浦、倉岳、栖本、天草、河浦
　1月 4日　新和、五和

・二十歳のつどい対象者が実行委員会を担い、式の運営や司会等を行った。
・記念動画や恩師メッセージ等の動画を制作し、式典での放映やYouTube限定配信を行った。
・参加率　83.7%（対象者数 712人、参加者数 596人）

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
二十歳のつどい開催	地区	目標値	10	10	10	10	10
		実績値	10	10	10		
二十歳のつどい出席率	%	目標値	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0
		実績値	83.2	82.3	83.7		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
　二十歳になったことを実感するとともに社会人としての責任と義務を自覚する機会となった。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 生涯学習課 生涯学習推進係
政策	(8)　生涯にわたる学びの推進			款	09　教育費
事業名称	04　青少年健全育成事業			項	07　社会教育費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	01　社会教育総務費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,402,694					2,402,694	1,027,430

事業費内訳

節	節名称	金額
07	報償費	5,000
08	旅費	16,880
10	需用費	51,974
12	委託料	1,478,840
18	負担金補助及び交付金	850,000

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
　青少年の健やかな成長を支援するため、自然とふれあいをはじめとする様々な体験活動や青少年同士の交流等の多様な活動の機会を提供するとともに、学校教育、社会教育などすべての教育力の向上を図ることを目的とする。
　また、社会を明るくする運動は、全国的な運動であり、青少年の非行の防止を目的としている。
【効果】
　社会における青少年の体験活動や交流活動を推進し未来を担う青少年の健全育成を図ることにより、感謝の気持ちを持つ大切さや思いやりの心を持つ青少年の健全育成、非行防止に効果がある。

事業実績

○青少年健全育成事業補助金　850,000円
　青少年の体験活動及び交流活動を実施する団体に対する補助
　（対象経費の1/2補助）
　①居住地を限定して実施する事業　申請 4団体　参加者 105人
　②市内全域を対象とする事業　　申請 3団体　参加者 68人

○社会を明るくする運動の開催　73,854円
　・保護司会と連携し、青少年の非行防止のための広報、啓発活動の実施。標語・作文の表彰、青少年育英活動の発表、講演等
　・青少年育成協議会理事会、防犯パトロール実施

○青少年の体験学習や活動に関する情報発信　1,478,840円
　・天草市体験学習サイトの構築

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
青少年健全育成事業補助団体	団体	目標値	5	8	12	12	12
		実績値	5	7	7		
社会を明るくする運動　標語・作文応募数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績値	1,063	359	1,148		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
　青少年健全育成補助金については、団体自らが青少年の健全育成を目的とした体験活動や交流活動の充実につなげることができた。
　社会を明るくする運動については、作文や標語の募集、入賞者の作文発表、研修会等を実施し、啓発活動に取り組むことができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています	所属	教育部 生涯学習課 生涯学習推進係
政策	(8)　生涯にわたる学びの推進	款	09　教育費
事業名称	06　地域と学校の連携・協働体制構築事業	項	07　社会教育費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	01　社会教育総務費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,203,672		3,560,000			2,643,672	6,292,983

事業費内訳

節	節名称	金額
07	報償費	5,839,200
08	旅費	139,880
10	需用費	83,826
11	役務費	77,956
12	委託料	62,810

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額
県	県支出金・地域と学校の連携・協働体制構築事業費	3,560,000

事業の目的・効果

【目的】
　地域学校協働活動推進員を配置し地域と学校の連携・協働による地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する活動を推進することで、地域の未来を担う子どもたち（青少年）を育成する。
　また、学校・地域の実情に応じた家庭教育に関する支援体制づくりや、放課後等における学習支援活動等の機会を提供することで教育力の向上を図る。
【効果】
　子どもたち（青少年）の健全育成とともに、家庭教育・地域教育の重要性を再認識してもらうことができ、地域全体で子どもたちを育てるという意識の醸成につながる。また、これにより、地域創生の実現に寄与することができる。

活動指標

指標名	単位		目標値	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
地域学校協働活動推進員配置数	人	目標値	19	19	19	19	19
		実績値	19	19	19		
家庭教育講座	回	目標値	110	110	110	110	110
		実績値	68	97	95		
家庭教育講座参加者数	人	目標値	2,200	2,300	2,400	2,800	2,800
		実績値	1,354	2,704	2,299		
放課後子ども教室実施校数	校	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2		
放課後子ども教室参加者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	800	800
		実績値	900	777	705		

事業実績

○地域学校協働活動　　5,690,889円　　財源　県2/3
　・地域学校協働活動推進員を市内の全小中学校に配置し、地域と学校が連携・協働して地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する活動を実施。
○放課後子ども教室　　361,228円
　・実施校数　2校（有明小学校・御所浦小学校）
　・開催日数　有明小学校　101日　　御所浦小学校　29日
　・利用者数　有明小学校　296人　　御所浦小学校　409人
○家庭教育支援事業　　7,380円
　・保育所(園)、幼稚園、小中学校等で行われる子どもや保護者向けの講座等に社会教育指導員、外部講師を派遣。
　・講師派遣回数　95回　　・参加者数　2,299人
○つながる力で天草の未来を創る教育推進フォーラム　144,175円

事業の成果等

【成果】
　地域学校協働活動については、パネル展やみつばちラジオによる情報発信など市民へ広く周知し、活動の充実につなげることができた。また、初めての取組として、小・中・高・支援学校との連携による「つながる力で天草の未来を創る教育推進フォーラム」を開催し、あらゆる分野の教育力向上を図ることができた。
　放課後子ども教室については、地域住民と学校が連携し交流活動や子どもたちの学習支援活動につなげることができた。
　家庭教育支援事業については、家庭教育講話「親の学び」プログラム冊子を配布し、事業の充実を図ることができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 生涯学習課 生涯学習推進係
政策	(8)　生涯にわたる学びの推進			款	09　教育費
事業名称	04　生涯学習推進事業			項	07　社会教育費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	03　公民館費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,819,606					3,819,606	3,729,994

事業費内訳

節	節名称	金額
07	報償費	1,261,000
08	旅費	266,408
10	需用費	519,498
11	役務費	1,772,700

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
　生涯学習の推進を図るため、幅広い年齢層を対象に、生涯にわたって、学習の機会や情報の提供に努めるとともに、生涯学習や公民館講座など学んだ成果を社会に生かすことができる機会の充実を図ることを目的とする。
【効果】
　各種講座などの生涯学習事業に積極的に参加することで、自ら学び、その学んだ知識や経験を地域社会に活かすことができる。

事業実績

○公民館講座
・全体講座（開催数 73回、参加延べ人数 2,687人）
　公民館単位で学習機会を提供
・地域講座（開催数 345回、参加延べ人数 6,445人）
　コミュニティセンター等の身近な場所で学習機会を提供

○生涯学習講座（開催数67回、参加延べ人数 863人）
・中央生涯学習センターで行う講座の開催

○その他の講座（開催数 7回、参加延べ人数 163人）
・市民の学習ニーズや要望に対し、生涯学習人材バンクを活用した講座の開催

○出前講座（開催数 280回　参加者延べ人数 7,665人）

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
講座開催数	回	目標値	480	500	500	750	750
		実績値	653	748	772		
参加者延べ人数	人	目標値	10,700	11,300	11,900	14,900	15,200
		実績値	13,252	14,629	17,823		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

○事業費内訳
・講座開催に係る経費（講師謝礼等）2,046,906円
・公民館総合補償制度保険料　　1,772,700円

【成果】
　公民館講座や各種講座が計画どおり開催でき、参加者も増加傾向にある。子どもから高齢者まで幅広く学習機会を提供するため、講座の開催方法や内容の工夫、各種団体のほか学校や地域とも連携した講座の開催を企画し実施することができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています			所属	教育部 生涯学習課 天草市立中央図書館庶務係
政策	(8)　生涯にわたる学びの推進			款	09　教育費
事業名称	04　移動図書館事業			項	07　社会教育費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度	目	04　図書館費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,632,228					11,632,228	10,699,017

事業費内訳

節	節名称	金額
01	報酬	7,611,528
03	職員手当等	1,554,014
04	共済費	1,577,927
08	旅費	429,120
17	備品購入費	459,639

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
　図書館のない地域、図書館から遠い地域に住む市民のため、移動図書館車で地域を巡回し図書館サービスを提供することで、市民の読書活動を推進する。
【効果】
　小・中学校等に巡回サービスを行うことで、学校図書館に所蔵していない図書と出会う機会ができ、子どもの読書活動の推進、及び市民の学習意欲や読書率の向上につながり、天草市全域での読書活動に効果が期待できる。

事業実績

　移動図書館車（3台）で市内全域147箇所を巡回し、本の貸し出し、配本業務を行った。

○中央図書館（きらきらいるか号）
　・本渡、有明、倉岳、栖本、新和、五和地区の57箇所
　・利用者数　6,432人　貸出冊数　62,838冊
○御所浦図書館（きょうりゅうブックカー）
　・横浦島を含む御所浦全域の22箇所
　・利用者数　354人　貸出冊数　6,078冊
○河浦図書館（いるか号）
　・牛深、天草、河浦地区の68箇所
　・利用者数　4,176人　貸出冊数　41,306冊
○事業費内訳
　・事務補助員報酬等 11,172,589円（4人分）
　・図書購入費 459,639円

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
移動図書館利用者数（延べ）	人	目標値	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績値	10,751	11,286	10,962		
移動図書館貸出冊数	冊	目標値	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
		実績値	96,793	107,330	110,222		
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

事業の成果等

【成果】
　５月に市内園長会で配本サービスについて周知した結果、４園から新規申込みがあり、子どもの身近に本がある環境を整備することができた。
　また、「まちはみんなの遊園地in銀天街」に参加し、子どもが楽しめるイベントの実施等の取組みが貸出冊数の増につながり、子どもの読書活動の推進を図ることができた。

令和 7年度　一般会計　決算　　（単位：円）

ありたい姿	3　生涯にわたり学び、学習活動の成果を地域社会で生かすことができています	所属	教育部 生涯学習課 天草市立中央図書館庶務係
政策	(8)　生涯にわたる学びの推進	款	09　教育費
事業名称	05　読書活動推進事業	項	07　社会教育費
事業分類	継続事業	事業年度	平成18年度　～　令和10年度
		目	04　図書館費

決算額	財源内訳					前年度決算額
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,623,541					7,623,541	15,708,255

事業費内訳

節	節名称	金額
01	報酬	2,207,376
03	職員手当等	450,671
04	共済費	446,577
07	報償費	102,000
08	旅費	49,735
12	委託料	250,000
13	使用料及び賃借料	4,070,000
	（上記以外）	47,182

財源内訳

区分	款・節以下名称	金額

事業の目的・効果

【目的】
　市民に読書の楽しさを理解してもらい、意欲的に読書に親しんでもらう機会を提供することで、市民の読書活動の推進を図るとともに、レファレンス（相談業務）による必要な情報や資料の提供に努め、図書館の必要性を浸透させる。また、電子書籍サービスにより、市民の利便性の向上、読書バリアフリーの推進、学習環境の整備を行い、市民の読書環境の充実を図る。
【効果】
　読書が市民の生活の一部として浸透することにより利用者増につながり、読書意欲や読書率の向上とともに、豊かな心の育成と幸福度の向上が期待できる。また、市民が利用しやすい形態での読書方法の選択肢が広がることで、多様な市民ニーズに応えることができる。

事業実績

○読書イベント（絵本作家 サトシンさんによる絵本ライブ）
　・開催1回　参加者182人　250,000円
○読み聞かせボランティア交流会・講座
　・開催3回　参加者52人　6,000円
○古文書学習会
　・開催11回　参加者86人　20,000円
○巡回おはなし会
　・開催22回　参加者955人　53,000円
○ライブラリー講座
　・開催3回　参加者308人　5,000円
○電子図書館サービス　7,215,944円
○調べる学習コンクール　26,415円
○その他の事業　47,182円
○レファレンス（相談業務）　9,516件

活動指標

指標名	単位		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
読書イベント開催数	回	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1		
読書イベント参加者数	人	目標値	120	150	150	150	150
		実績値	217	145	182		
図書館貸出冊数	冊	目標値	480,000	480,000	480,000	400,000	400,000
		実績値	370,113	366,607	361,092		
電子書籍貸出数	点	目標値		7,000	16,000	18,000	18,000
		実績値		6,506	10,580		
レファレンス（相談業務）数	件	目標値	8,500	8,700	8,700	9,500	10,000
		実績値	7,990	9,275	9,516		

事業の成果等

【成果】
　令和７年度初取組みの「調べる学習コンクール」では、13作品の応募の中、９作品が天草関連の内容であったことから、子どもたちの探求や郷土愛の醸成につながり、「体験学習の島づくり」の推進の一助となることができた。
　図書館の利用者数は、142,219人と上昇しつづけており、また、レファレンス数も増となり、市民の学びの場として図書館の役割を果たすことができた。